



たづがね (鵲が音)

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子



3学期【学習・生活の振り返り】

一年間を4つのステージに区切り教育活動を行ってきました。1～3月は【学習・生活の振り返り】としています。子どもは新しい学年になってから9ヶ月間、日々の学習や行事、友達との関係など様々な経験や体験を積み重ねています。うまくできたこともあれば、うまくいかなかったことに立ち向かったこともあるでしょう。時には教師や家族、地域の方から叱咤激励を受けたこともあるかもしれません。そうした一つ一つが子どもの成長の糧になっています。このような過程を振り返り、自分自身の成長を自覚し、自己肯定感が高まる学期にしていきたいと考えています。さらに、次の学年へ向けた準備期間とし、新しい目標に向かうということも大切にしていきます。

6年生は小学校生活最後の学期です。6年間を振り返り、自信をもって次のステージへの出発の準備期間です。

1年生が羽咋小1年生と交流

16日(木)本校1年生5人が羽咋小学校1年生50人と「昔あそび」で交流しました。羽咋市教育委員会の方針を受けてから第1弾の交流でした。人数は10倍という中で、本校の子ども達は、初めこそ人数差に圧倒されて静かな様子でしたが、昔あそびでボランティアの方々と一緒に楽しく活動しているうちに、笑顔や元気な姿が見られるようになりました。帰りには、玄関でお見送りされて、「楽しかった。また来たいな。」と。

このように他の学年も交流を経ていき、知っている子どもが増えることで少しずつ心の緊張も解けていくことを期待し、今後も良い交流を重ねていきたいと考えています。

正月飾り(しめ飾りや門、お鏡など)はいつまで?

門松としめ飾りは、**関東では**1月7日の朝に七草粥を食べた後に外すことが多いようです。**関西や一部地域では**、1月15日の**小正月**や、1月20日の二十日正月まで飾るところもあります。鏡餅は鏡開きの日の1月11日まで飾っておくのが一般的ですがこちらも関西では日付が異なり1月15日や1月20日に鏡開きを行うところもあるそうです。

正月飾りの処分は、毎年1月15日ごろ(小正月)に神社で行われる、「どんど焼き」に持ち込んでお焚き上げいただく方法が一般的です。このどんど焼きでは、正月飾りのほか、お札や神棚、お守りなどのお焚き上げが行われます。(地域によっては「左義長」)

小正月とは、旧暦の1月15日でその年の最初の満月の日です。正月を大正月(おしょうがつ)と呼ぶのに対して、満月はめでたいものとして、この日を「小正月(こしょうがつ)」と呼び祝っていました。現在では、新暦の1月15日に祝う地域が多くなっています。【Yahoo web より】

皆さんは正月飾りをいつまで飾っていましたか。私は15日(小正月)の朝しめ飾りを外しました。

西北台校下成人祝賀会

1月12日(日)20歳を迎えた方々のお祝いの会が、上甘田公民館と一ノ宮公民館の共催でのと青少年交流の家大研修室で開催されました。西北台小学校の卒業生20名が集いました(数名欠席)。以前は、それぞれ公民館単位で行われていましたが、近年は合同で開催されています。配布された卒業の際のPTA広報には、一人一人の顔写真と将来なりたい職業についての作文が載せられていました。自己紹介タイムで、12歳当時の想いを大切にしながら今も挑戦している方や、地元において地域に貢献されている方もいました。そして、タイムカプセルとして思い出の品や1年生入学時の掲示(顔写真)も残されていて、懐かしさに笑顔がこぼれていました。

今年度本校で過ごしている児童も、何年後かには成長した姿で、地域を大切にしながら地域の行事に参加してくれるのだろう、と期待しながら、今後の教育活動にしっかり取り組みたいと、私も気持ちを新たに時間を過ごすことができました。

